

9月15日(月)

## 信仰の継承

# 今日の力

2025年9月15日～9月21日

翻訳 ダニエル・ハドルストン

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています

※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

聖書朗読 サムエル記 第一 1：1～28

これ以上、何を言いましょうか。もしギデオン、巴拉ク、サムソン、エフタ、またダビデ、サムエル、預言者たちについても話すならば、時が足りないでしょう。

ヘブル 11：32

アベルからラハブという信仰の偉人たちの物語を雄弁に語ったのち、ヘブル人への手紙の著者は、信仰の偉人たちについて語り尽くすには時が足りないと述べています。そして、ヘブル11：32では、『多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いている』と記しています。ギデオン、巴拉ク、サムソン、エフタ、またダビデ、サムエルの話をするだけの時間がないのです。しかし、それと同時に、それらの信仰の偉人たちの名前を挙げさえすれば、ヘブル人への手紙の読者はその偉人たちが何をしたかを良く分かっていることを物語っているのです。“ギデオン”という名を挙げるだけで、ギデオンがどういう人物かを承知していたのです。

そして、本日の聖書朗読は、信仰を貫き通したある人物と、その信仰深い人物を育てたすばらしい母の物語です。サムエルの話を思い起こすということは、何層にも深く重なり合った信仰生活を紐解くということです。サムエルは、士師の頃から王朝の時代にかけて、イスラエルの子らを導いた偉大な指導者でした。本日の朗読箇所は、彼の確固たる信仰は不信仰という海に浮かぶ島のような信仰ではないことを表しています。つまり、彼の神に対する信仰は、主の前に『心を注ぎ出して』神に願いを叶えて頂いた信仰深い母の信仰の結実だったのです。どういうことかと言いますと、サムエルの信仰は、無信仰という海に浮かぶ島のような信仰ではなく、母から脈々と受け継いだ陸続きの信仰だったので

讃美歌 270 信仰こそ旅路を

祈り 最愛の天の父よ、御名が褒め称えられますように。信仰の先輩たち、また今時を同じく共に歩んでいる兄姉、そしてこれから私たちに続いて歩む信仰者たちをありがとうございます。イエス様の御名によりお祈りいたします。アーメン。



テキサス州 グランベリー / クリス・フリゼル

9月16日(火)

## どなたの手柄?

聖書朗読 サムエル記 第一 17:38~51

その恵みは私たちに大きく、主のまことはとこしえに。ハレルヤ。 詩篇 117:2

ダビデは、ゴリヤテと対峙したとき、自分こそ必要不可欠な存在だと思っていたのではないでしょうか。若者にはそのような思いが良くあります。“No Fear (怖いものなし)”という名前の若者向けの洋服のブランドまでありました。ダビデは心の中で、「皆が恐れてる巨人を早く出せ。俺がやっつけて見せるぞ」と思ったかも知れません。自分の身を守るために与えられた、よろいかぶとの着用まで拒否しました。恐れを知らぬ若者だったのかも知れません。でも、ダビデには若さによる勇敢さだけではないものがありました。

この時、この場所、この戦いのために、神様はダビデを選んでいました。彼は単なる野望に満ちている若者ではなく、彼の自信は全てを支配している万能の主に由来したものでした。ダビデは、そのことを良く理解していたので、ゴリヤテとの戦いが始まる前に『この戦いは主の戦いだ』と宣言しました。

神様はダビデに、民を導き大いなる苦難に直面するための準備をしていました。私たちはどうでしょうか。どんな戦いに呼び出されていますか。戦場で輝いて欲しいのは自分ですか、それとも神様ですか。私たちひとりひとりは、必ず主に呼び出されるでしょう。その時、あなたは、手柄を誰のものにしますか。ダビデの叫びは、『この戦いは主の戦いだ』であり、私たちの叫びもそうあるべきなのです。

聖歌 591 おそれなく近よれ

祈り アブラハム、イサク、ヤコブの神よ、本日立ち向かうことが何であろうと、あなたを賛美しながら、主の前に立っておられます。あなたの力と知恵を給われますようにお願い申し上げます。あなたに全ての栄光を帰せますように。イエス様の御名によって。アーメン。



テキサス州 ラボック / シエリー・リームズ

9月17日(水)

## 人間関係入門

聖書朗読 サムエル記 第一 25:18~35

しかし、上からの知恵は、第一に純真であり、次に平和、寛容、温順であり、また、われみと良い実とに満ち、えこひいきがなく、見せかけのないものです。

ヤコブ 3:17

周りの人と仲良くするのは人生の高いハードルの一つです。夫婦、親戚、隣人、国々、それにキリストにある兄弟姉妹も例外ではありません。本物の人間関係を築くことは人々の調和を促す不可欠な要素です。高価な陶磁器の花瓶のように、一度割れてしまうと、破片を元の形に継ぎ合わせることは難しいかも知れません。だから、私たちは主にある人間関係を築き、調和を維持しなければいけません。

人々と善意と協力の精神を共有すれば沢山のことを達成することができます。対立する側の二人が友達になって、組織内の難解な争いが解決されることがよくあります。簡単に言うと、私たちが手と心を繋いで神様のために働くとき、沢山のことが神様の栄光のために達成されます。ひとつになれば、神様に栄光を帰すことができます。

終わりに、兄弟たち。喜びなさい。完全な者になりなさい。

慰めを受けなさい。一つ心になりなさい。平和を保ちなさい。

そうすれば、愛と平和の神はあなたがたとともにいてくださいます。

—コリントII 13:11

讃美歌第二編 24 世界をすべてもう主よ

祈り 聖なる父よ、あなたの御名によっても目的においてもひとつになって、あなたに仕え、あなたに栄光を帰すことができますように。イエス様の御名によつて。アーメン。

テネシー州 モリソン / ボブ・セントラッчик

9月18日（木）

## 神の一方的な恵み

聖書朗読 列王記 第一 3：1～15

私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けたのである。

ヨハネ 1：16

ソロモンは特別でした。偉大なダビデ王の息子であり、神の選民の王として父の後を継ぐよう運命づけられており、おそらくその時代に生きた最も知恵と富に富んだ人物であったでしょう。この世的に見れば、ソロモンは完全な男でした。でも、ソロモンはありふれた人間でもありました。この世に生きているあらゆる人間、これから生まれるであろう人間のように、彼の心は偽りに満ち、絶望的に病んでいました。本日の聖句によると、ソロモンは偶像礼拝をする国家の娘をめとり、偶像礼拝用の高き所でいけにえをささげていました。神様はそのような行いをはつきりと禁止されています。神様の目には、ソロモンは絶望的に貧しかったのです。

世の中の“特別”の定義は、神様を全く考慮に入れていません。世の中は目に見えることにしか関心がないからです。でも、神様の“特別”の定義は目に見えないものに基づいています。ソロモンを特別にしたのは、彼の豊かな富や知恵ではなく、神様の主権による恵みと寵愛でした。神様の恵みより偉大で栄光に満ちているものはありません。なぜならソロモンがどういう人物かではなく、神様の一方的な恵みによって、ソロモンも、私たちも救われているからです。

讃美歌 86 み神のめぐみは

祈り歴史の主よ、過去、現在、未来、あなたの救いの力と、我々をご自分の下に呼び寄せて下さるご寵愛を感謝して、主の前でひれ伏します。あなたのご栄光を見ることができる目をお与えください。イエス様の御名によって申し上げます。アーメン。



テキサス州 ラボック／チャック・ブライアント

9月19日（金）

## 十分

聖書朗読 列王記 第二 4：1～7

主はモーセに仰せられた。「見よ。わたしはあなたがたのために、パンが天から降るようにする。民は外に出て、毎日、一日分を集めなければならない。これは、彼らがわたしのおしえに従って歩むかどうかを、試みるためである。出エジプト 16：4

私たちの家の売却の契約書が無効になったと知らせる電話を未だに覚えています。強烈な打撃でした。なぜなら、新しい家を買う契約に既に署名していて、間もなく家族を連れてそちらに引っ越し、新しい仕事を始めることになっていたからです。もはや引き返すことはできなくなっていました。

次の9カ月間にわたり、古い家が売れることを待ちながら、両方の家のローンを払っていました。常に苦難にあいながら、家計の帳尻を合わせるだけのお金を稼げるかなと心配していました。イエス様が五千人以上の人たちに食事を食べさせたことを思い出しました。弟子たちはそんな食糧をどこから手に入れるかさっぱり分かりませんでした。でも食糧は与えられ、十分ありました。イエス様がいらっしゃれば、必ず十分あります。

私はまた、列王記II 4章でエリシャが未亡人に指示する場面で、同じことを思い起こします。支払いをするのに十分な油が出てきます。それは聖書に一貫するメッセージです。あり余るとは限らないけれども、神様は必ず十分与えてくださいます。やっと古い家を売りました。神様は私と家族の面倒を見てくださいました。十分与えてくださいました。同じように、本日の苦難を乗り越えるのに十分を与えてくださるでしょう。

讃美歌 422 われら たがやし

祈り神様である父よ、あなたの民にいつも十分をお与えになることを感謝します。あなたがお作りになった本日ですから、本日必要なものをあなたに頼らせてください。イエス様の御名によって申し上げます。アーメン。

テキサス州 フォートワース／ケント・ベンファー

9月20日（土）

## 私はすわって泣きました

聖書朗読 ネヘミヤ記 1章

彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。

黙示録 21:4

リーダーシップを勉強したければ、ネヘミヤ記を読みましょう。しかし、ネヘミヤ書を勉強するとき、残念ながら第1章を飛ばす傾向があります。ネヘミヤがアルタシャスタ王の助けを願う前、城壁再建を始める前、悪党のサヌバラテの計略をくじく前、彼はすわって泣きました。そしてイスラエルが犯した罪を思い泣きました。

あなたは、すわって泣いたことがありますか。私は、優しい妻が他界してからの一年間、多くの涙を流したことを告白します。私が流した涙の一つ一つには意味がありました。涙は失くしたものの代わりにはなりませんが、涙には魂を慰めるような、喪失感を緩和するような性質があります。

でも、ネヘミヤはより高度な涙があることを見せてくれました。その涙も喪失に関連したことです。従順さの喪失、純粋さの喪失、神様との関係の喪失。彼はイスラエルの罪とその結果起った悲惨な状況のために涙を流しました。それから、彼は仕事に着手しました。

黙示録が語っているように、私たちは、天国では、以前のものが、もはや過ぎ去り、もはや悲しみ、叫び、苦しみがないことを知っています。私が思うには、天国ではもはや罪もないことになるでしょう。しかし、それまでは、自分の罪、人の罪のために泣きましょう。そして仕事を始め、城壁を再建しましょう。

讃美歌 39 日くれて四方はくらく

祈り 主よ、我が涙が癒すものだけではなく、罪という瓦礫の撤去と、あなたとの関係という城壁の再建に向けての行動を刺激するものとなりますように。イエス様の御名によって申し上げます。アーメン。

テキサス州 ラボック / ジエス・ピーターソン

9月21日（日）

## あなたの聖書には何がありますか

聖書朗読 ネヘミヤ記 8:1~5

私は、あなたの純粋な信仰を思い起こしています。そのような信仰は、最初あなたの祖母ロイスと、あなたの母ユニケのうちに宿ったものですが、それがあなたうちにも宿っていることを、私は確信しています。

テモテ II 1:5

あなたの聖書には何か挟まっているものがありますか。教会の週報や説教についてのメモが挟まっていますか。大事な人たちの訃報がありませんか。見たことのないページがありますか。それとも、下線を引いたり、蛍光ペンでハイライトしたりした所がありますか。

祖母が他界した時、私が唯一欲しかった遺品は彼女の聖書でした。彼女の椅子の傍にいつも置いておく場所があり、彼女の日常生活になくてはならない忠実な仲間でありました。彼女が下線を引いた節や書いたメモを見つけ、彼女の心を動かした聖句など分かりました。擦り減った縁や脆くなった装丁は、彼女の献身や、彼女が神様の御言葉とともに過ごした無数の時間の多さを物語っています。

彼女の聖書はただの本ではなく、彼女の靈的旅路への窓を提供する大事な遺産です。それを通して、彼女の信仰が彼女の行動を形作った様子が見えます。家族のための生きた模範であります。

聖書は知識以上のものを提供します。知恵、指示、希望を与えます。私たちの道の光であり、救いを理解するための鍵であります。

讃美歌 501 生命のみことば

祈り 最愛の神様よ、あなたの栄光に満ちた御言葉を感謝いたします。いのちの御言葉は、それをまとうした先人たちの人生に見出されるものでした。祖母の信仰と、それこそ彼女が残してくれた最高の遺産であることを覚えます。自分の家族のために、私もその偉大な例に従えますように。イエス様の御名によつて。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル / ジョッシュ・バーネット